

■手振れ再現シミュレーター  
精密位置決め装置開発メーカーの神津精機（川崎市麻生区、内藤利明社長）は、手振れシミュレーター「TSS-1000」＝写真＝を開発した。

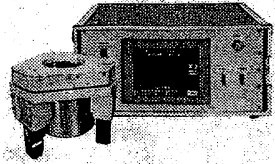
手振れシミュレーターはビデオカメラ、デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話の手振れ補正機能の作動状況を検査・調整するため、カメラを載せて「わざわざ、手振れを起こす装置。

従来のシミュレーターは加振器による上下動、回転運動などワンパターンの振動しか再現できなかったが、同社の開発したシミュレーターでは、ACサーボ3軸によるトライポット機構を採用するなどして、振動パターン、周波数、振れ角度などを簡単に設定し、複雑な手振れ状態をリアルに再現できる。

ムービーカメラのハイビジョン化、監視カメラの高望遠化が

進み、デジタルカメラでも高精度、高望遠、動画対応など高性能化している。手振れ補正機能も用途に応じた対策を講じるため、複雑な手振れ状態の再現が求められているという。

同社は米航空宇宙局（NASA）にエックス線回折装置を納入していることでも知られる。精密位置決め、システム制御技術を武器に、新たな市場を開拓する考えだ。



◇  
神津精機 〒215-8521、川崎市麻生区栗木2の6の15。☎044(981)2131、ファクス044(981)2181。URLは<http://www.kohzu.co.jp/>  
(情報提供・川崎市産業振興財団)

